

令和6(2024)年度 認知症対応型サービス事業開設者研修概要

【別紙】

- 1 日程 年1回開講 講義・演習2日 現場体験1日
- 2 定員 20名
- 3 会場 講義・演習:とちぎ認知症介護研修センター
現場体験:とちぎ認知症介護研修センターが指定する事業所

4 カリキュラム

【 第1日目 】 令和6(2024)年11月27日(水)

時間	No.	科 目	目的及び内容
9:50～10:00		オリエンテーション	
10:00～12:00 120分	1	認知症高齢者の基本的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学的理解」－医学面から本人の生活に及ぼす影響を示し、生活障害としての理解を深めること。 ・「心理的理解」－高齢者への周囲の不適切な対応・不適切な環境が及ぼす心理面の影響の内容を理解すること。 ・認知症という障害を抱える中で自立した生活を送ることの意味と、それを支援することの重要性を理解する。
13:00～14:30 90分	2	地域密着型サービスの取組みについて	・地域密着型サービスの指定基準(特に「地域との連携」、「質の向上」)について理解する。
14:40～16:10 90分	3	地域密着型サービスの取組みについて	・地域密着型のサービス事業所からの実践報告を通じ、サービス提供のあり方について理解する。
16:20～17:20 60分	4	「現場体験」の実習課題の設定	・「現場体験」の目的を踏まえ、自己の実習課題を設定する。
17:20～17:45		事務連絡等	

【 第2日目 】 令和6(2024)年11月28日(木)

時間	No.	科 目	目的及び内容
9:00～16:00 420分		現場体験	・事業者や介護従業者の視点ではなく、利用者の立場から各事業所におけるケアを体験することにより、利用者にとって適切なサービス提供のあり方、サービスの質の確保等について理解する。

【 第3日目 】 令和6(2024)年11月29日(金)

時間	No.	科 目	目的及び内容
10:00～11:30 90分	1	家族の理解・高齢者との関係の理解	・家族介護者のみではなく、他の家族の含めた家族の理解と、高齢者と家族の関係を通して、認知症介護から生じる家庭内の様々な問題や課題を理解し、家族への支援の重要性について理解する。
12:30～14:30 120分	2	認知症高齢者ケアのあり方	・認知症高齢者が、自分の能力に応じて自立した生活を送るための支援を行なう為に必要な基本的な考え方(主に権利擁護・リスクマネジメント)を理解する。
14:40～15:10 30分	3	○現場体験について	・2日目の現場体験に関しての意見交換等
		○レポートの作成・提出について	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(現場体験を含む)の受講を通じ、①認知症高齢者ケアについて理解したこと、②今後の事業所運営に関して取り組みたいこと、などについて、レポート(A4用紙5枚程度)を作成し、とちぎ認知症介護研修センターに郵送。提出の確認が出来次第、修了証を受講者に送付します。 ・受講修了者・・・このレポートのコピーをとちぎ認知症介護研修センターに郵送。 ・指定申請時・・・このレポートを市町の長に提出。
15:10～15:20		事務連絡等	

